



明治 当時の松戸町役場（現在の伊勢丹松戸店付近にあった）



明治末期 江戸川の松戸渡船場(金町側から写す)



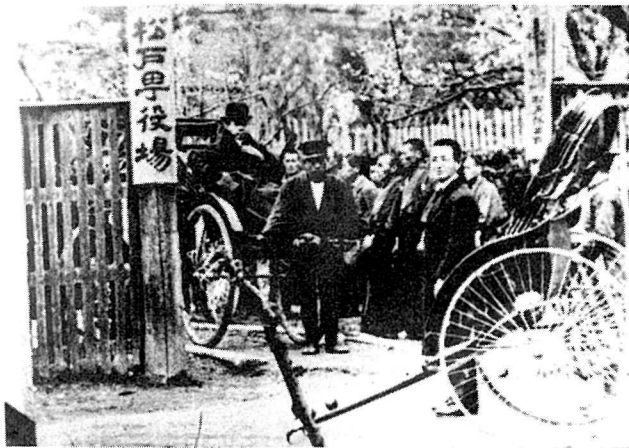
明治末期 江戸川で行われた大規模な水防訓練

写真でみる

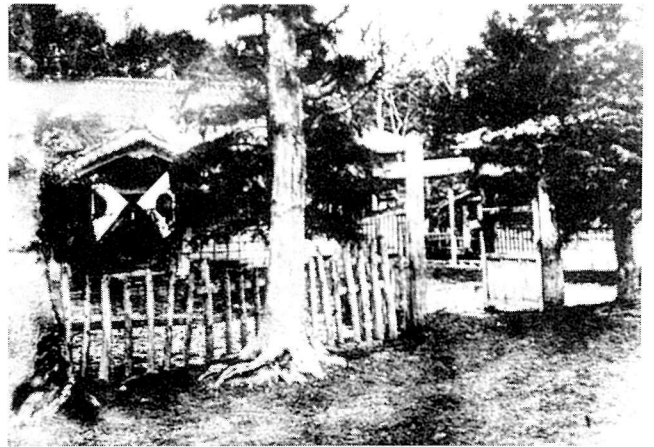
松戸のう・つ・り・か・わ・り

松戸町から松戸市へ——
明治・大正・昭和と時代の変遷とともに発展してきた松戸のうつりかわりを写真で紹介します。

この広報縮刷版（昭和五十三年～五十七年分）を中心に編集したため、五十八年以降は割愛しましたのでご了承下さい。



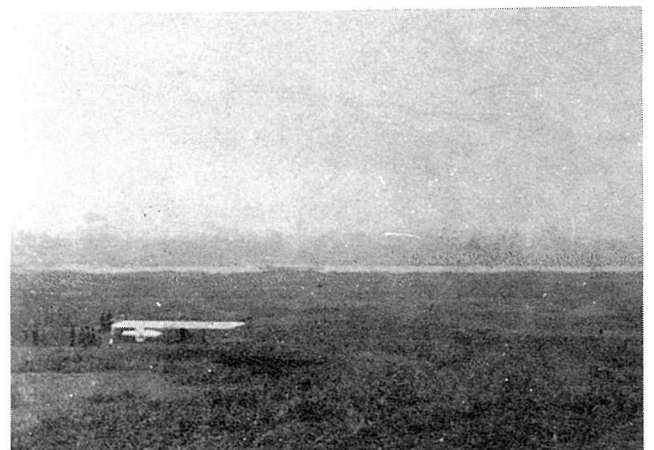
大正末期 松戸町役場前



大正13年 旧八柱村尋常高等小学校校門



昭和初期 春雨橋付近から見た旧水戸街道



昭和初期 江戸川のほとりにあった松戸飛行場



昭和11年 上野松戸間旧省線電車開通祝賀会風景



昭和初期 北小金停車場(駅舎)



昭和18年 市制施行当時の岩瀬方面から見た小根本周辺



昭和15年ごろ 現市役所付近から見た松戸駅周辺



昭和28年 古ヶ崎付近の坂川での漁業風景



昭和28年 市制施行10周年を記念して行われた祝賀パレード



昭和34年 松戸駅西口の旧水戸街道十字路



昭和33年 常盤平・子和清水付近



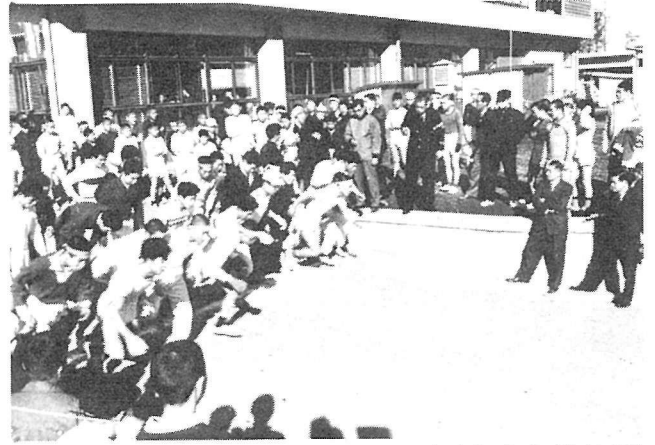
昭和36年 常盤平支所付近から見た常盤平団地



昭和34年 現在の根本に市役所新庁舎完成



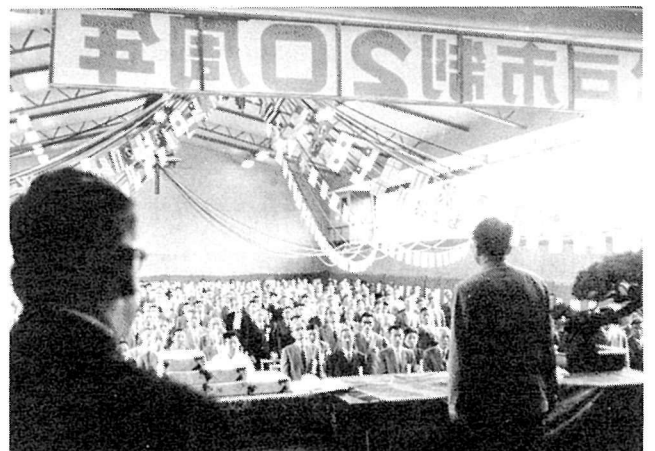
昭和37年 現在の第二中学校付近にあった旧松戸市立国保病院



昭和36年 七草マラソンのスタート(市庁舎前から)



昭和40年 県立松戸高校移転入校風景 (小山から移転)



昭和38年 市制施行20周年記念式典が行われる。人口12万2千人、3万世帯を超え都市化が急速に進んでいた



昭和44年 松戸市の名を全国的に有名にした「すぐやる課」誕生



昭和44年 小金原団地入居始まる



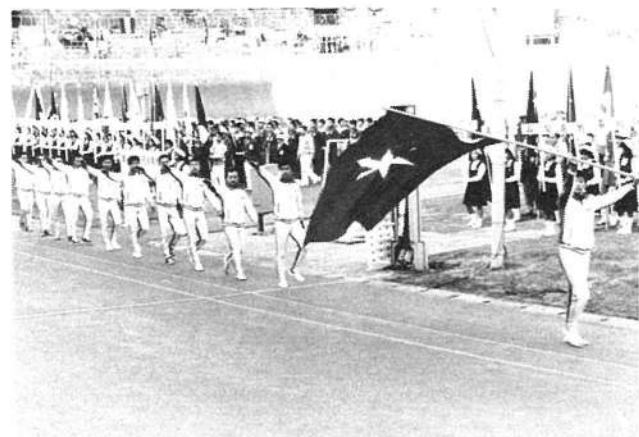
昭和51年 牧野原小学校内の仮校舎でスタートした市立高校の校舎が完成



昭和48年 国鉄(現JR)武蔵野線新松戸ー府中本町間が開通(新松戸駅で)



昭和48年 千葉(若潮)国体が県下で開催され、市内では自転車・庭球競技が行われた





昭和53年 ゴミの4分別収集始まる(市庁舎前で)



昭和52年 衛生会館が完成し、休日夜間急病診療所がスタートした



昭和53年 分別収集に市民の全面協力体制が組まれる(写真は資源ゴミの分別風景)



昭和53年
ゴミの分別収集説明会で開催された
市内各所



昭和53年 松戸市立林間学園白樺高原荘が中学生の校外活動の場として完成



昭和53年 ゴミの分別センターが完成し資源ゴミの分別化が進んだ



昭和53年 新松戸地区の開発が急ピッチで進む



昭和53年 松雲亭が戸定館に隣接して完成し、文化活動の場として広く開放される



昭和53年 武蔵野線新松戸―西船橋間が開通し、全線開業した



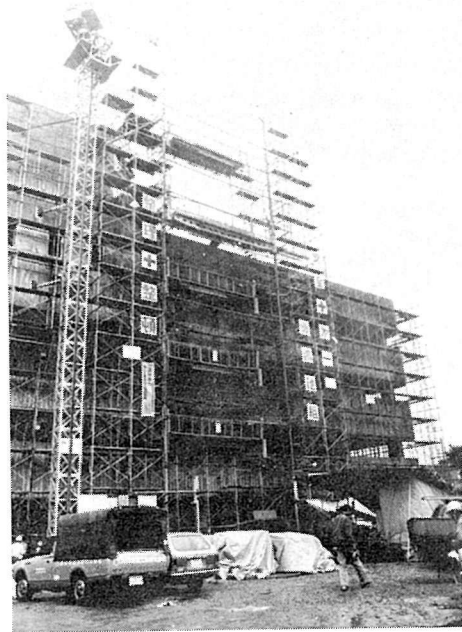
昭和53年 第2次総合5か年計画策定のため市民会議が市内各所で開かれた



昭和54年 違法自転車撤去風景 銀輪公害が問題化し、自転車駐車場建設が急ピッチで進められる



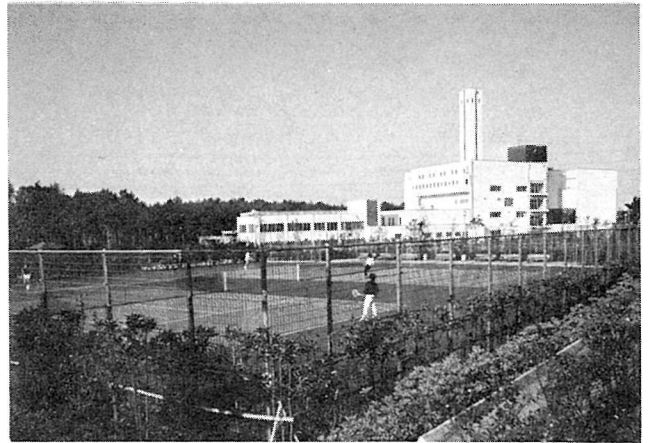
昭和55年 東部スポーツパークがオープン 総合的な体育施設を整備



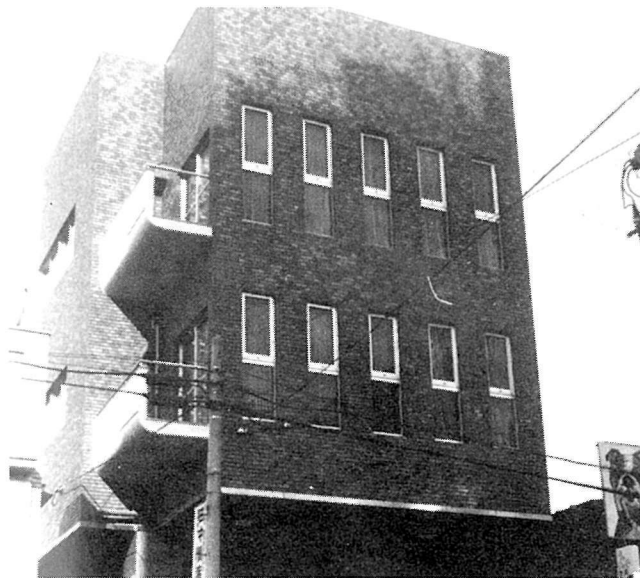
昭和54年 国保松戸市立病院増床、六実支所・六実消防署・馬橋支所の建設などたくさんの方の施策が推進される



昭和55年 勤労会館が完成し働く人々の集いの場が増える



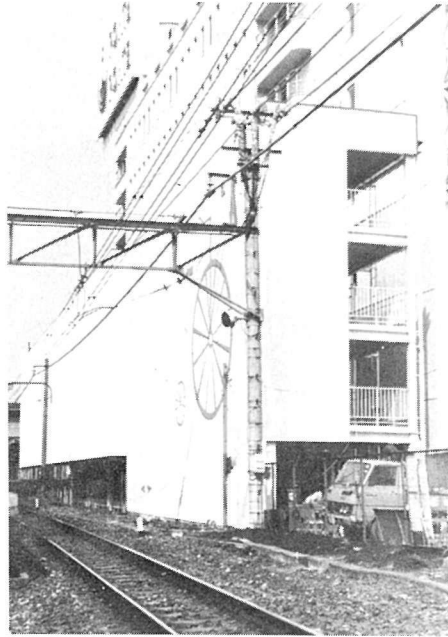
昭和55年 クリーンセンターが六実に完成 最新技術を盛り込んで、温水プールなどのスポーツ施設や公園なども併設



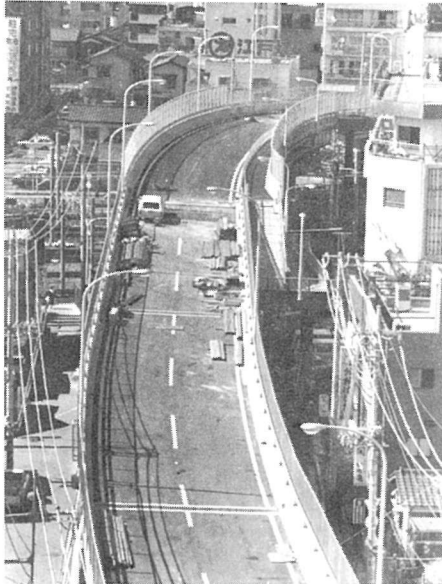
昭和55年 婦人会館が完成し、各種講座などに広く利用できるようになる (左は婦人会館外観)



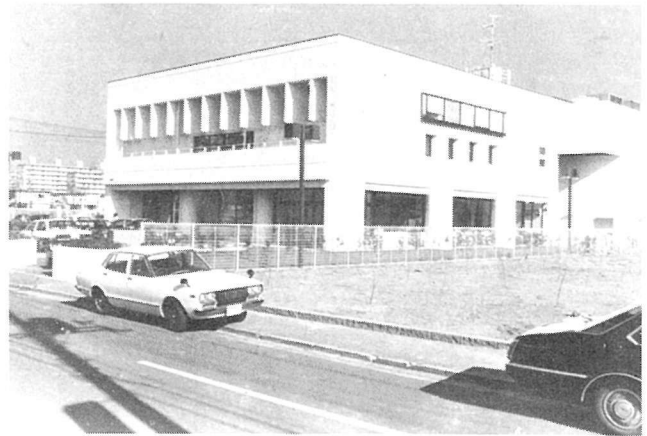
昭和56年 東部クリーンセンター完成 クリーンなし尿施設として始動



昭和56年 全国でも珍しい四階建て立体自転車駐車場が松戸駅東口に完成



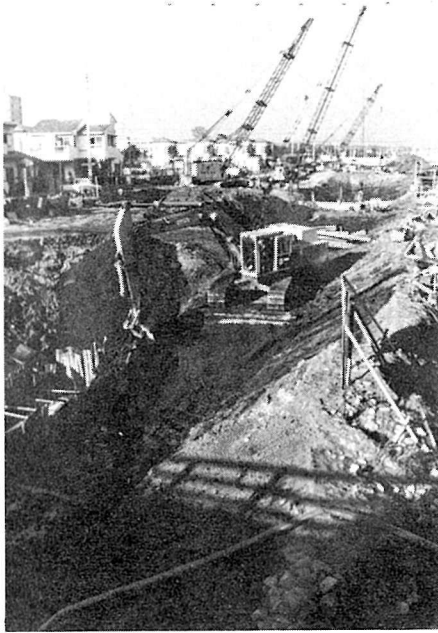
昭和56年 岩瀬立体交差部完成 市内道路網の整備が急ピッチで図られる



昭和56年 新松戸支所がオープン



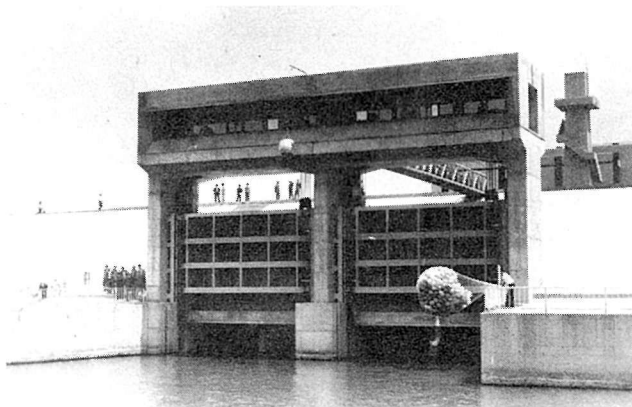
昭和56年 市民劇場オープン 300人程度収容の劇場として幅広く利用される (左は劇場内部)



昭和57年 北千葉導水路工事 首都圏の水資源
確保に供される



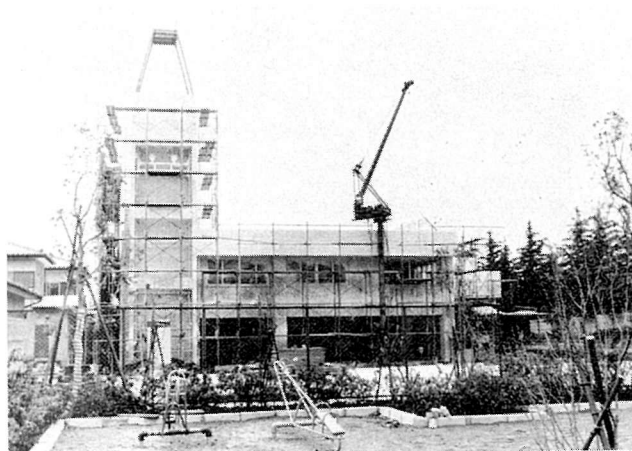
昭和57年 着々と整備される市営住宅（写真は天神山第2市営住宅の建設風景）



昭和57年 坂川放水路松戸排水機場完工式が行われる



昭和57年 市内7番目の支所として矢切支所が開所



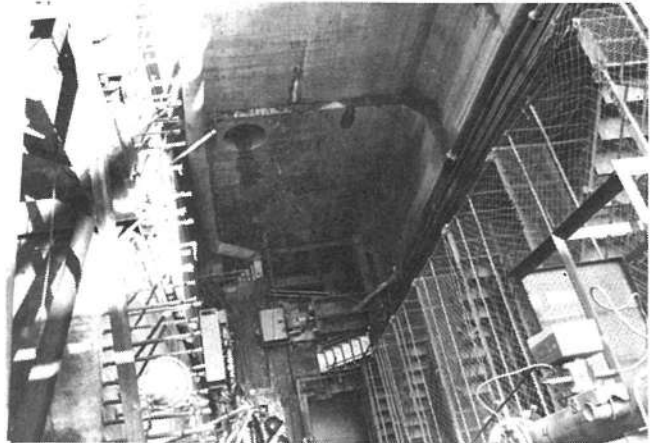
昭和57年 東部支所・東部消防署建設着工



昭和57年 さらに進む建物の高層化に対応して
六四・六メートル級はしご車が導入
される



昭和57年 市民健康づくりの集いが行われる（本土寺をスタートした歩こう会と健康増進センターでのヨガ教室）



昭和57年 着々と進む下水道整備事業 下水道普及率の大幅なアップを図る（写真は江戸川左岸流域下水道工事）



昭和57年 第一回松戸マラソンのスタート

この写真集「写真でみる松戸の
うつりかわり」は、広報課保存フ
ィルムのほか市民各位のご協力に
よりお借りしたフィルムにより編
集しました。

21世紀をめざして

—松戸わがまちプラン—

第4次総合5か年計画

平成元年4月スタート



市制施行以来満45年を迎えた松戸市は、人口も45万人を超え、全国でも有数の大都市に成長しました。

平成元年4月からは、21世紀をめざして—松戸わがまちプラン—第4次総合5か年計画がスタートします。

市民の総意により、西暦2000年をめざした理想的な都市づくりを進め、わがまち松戸はさらに大きく飛躍しようとしています。



平成元年 21世紀の森と広場建設事業も順調です
(写真は光と風の広場)



平成元年 元号が平成に改められて最初の成人式
(市民会館で)

昭和63年

〈写真上〉 首都東京への通勤客はさらに増え続けています(JR松戸駅で)

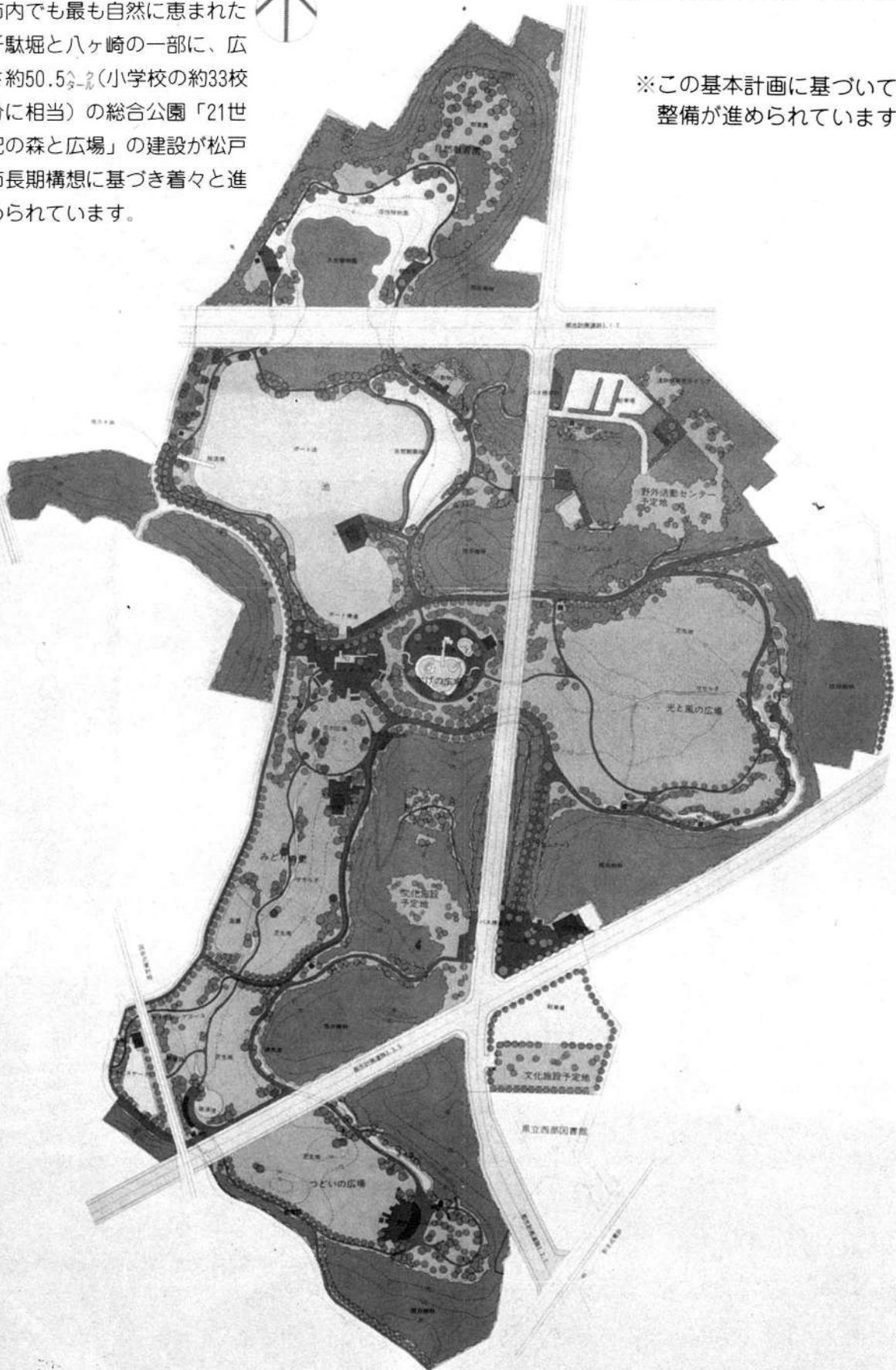
〈写真下〉 地下鉄11号線の松戸延伸早期実現を願い、署名運動などが展開されました
(写真は住民決起大会)

市域のほぼ中央に位置し、市内でも最も自然に恵まれた千駄堀と八ヶ崎の一部に、広さ約50.5ヘクタール（小学校の約33校分に相当）の総合公園「21世紀の森と広場」の建設が松戸市長期構想に基づき着々と進められています。



21世紀の森と広場基本計画図

※この基本計画に基づいて整備が進められています



現在の市庁舎



歴史公園に整備される戸定ヶ丘(戸定館)



日本の道100選に指定された常盤平さくら通り



市民に親しまれる江戸川(矢切の渡し)



市の表玄関松戸駅(西口駅前広場)